授業科目	乳児保育Ⅱ					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	池田　佐輪子						
授業概要	近年の社会情勢の中、ますます乳児保育の必要性が高まり、乳児保育担当者として高い専門性が求められるようになってきた。本授業では、多様化する保育ニーズに責任をもって応えていけるように、「乳児保育Ⅰ」で学んだ理論や課題を引き継ぎ、実践する上で必要な内容を明確にしていく。２５年間の保育所保育士としての実績をもつ実務家教員として、保育内容、環境構成、指導計画、連絡帳等、現場で生かせる基本的な知識・技術・実践力が身につくように授業を行う。そのうえで、一人ひとりの子どもとの関わりについて深く考察することができるよう、学んだ内容を保育実践の場で活かすことができるよう、視点を定めてグループワークを行い、学生による主体的な討議や実技を展開する。						
授業形態	演習			授業方法	・実習での部分保育を想定した年齢別指導計画の作成。 ・乳児保育の場面での事例をもとにグループワーク、ロールプレイ。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. ３歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。（DP2-1） 2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、３歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解し、保育の現場で実践できるようにする。（DP5-3） 3. 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。 4. 上記１～３を踏まえ、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。 学生が達成すべき行動目標に挙げた４項目について理解し、関わり方の基礎が習得できている。
理想的レベル	標準的なレベルの理解に加え、子どもの発達の状態や気持ちを理解することを意識し、学んだことを応用しながら関わろうとする力を有している。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	10%	最終回に振り返りレポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%	
レポート外の提出物	40%	年齢に応じた保育指導計画
その他	30%	授業への積極的な参加態度や意見表明等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH21319J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
・授業で説明した内容を踏まえ、指導計画を作成する。 ・事例に基づいて実施するロールプレイから学んだことをノート等にまとめる。	1

授業計画

第１回	テーマ：オリエンテーション 「乳児保育Ⅰ」での学びをさらに深めていく。授業の概要と目標、課題及び提出物について理解する。
第２回	テーマ：乳児保育の基本、役割と目標 乳児保育の役割と目標を明確にしたうえで、子どもと保育者との関係の重要性を知り、子どもの主体的な育ちを重視した援助や関わりについて学ぶ。
第３回	テーマ：乳児保育、幼児保育の一日 ３歳未満児の一日の流れと保育の環境について理解する。
第４回	テーマ：６か月未満の子どもの発達 子どもの発達と援助の実際について理解する。
第５回	テーマ：１歳６か月前後の子どもの発達 子どもの発達と援助の実際について理解する。
第６回	テーマ：３歳までの子どもの発達 子どもの発達と援助の実際について理解する。
第７回	テーマ：保育の計画①　基本 長期的な指導計画、短期的な指導計画、個別的な指導計画、集団の指導計画の作成について理解する。
第８回	テーマ：保育の計画②　ねらいと評価 指導計画の作成と検討を行う。
第９回	テーマ：保育の計画③　留意点と環境 指導計画の作成と検討を行う。
第10回	テーマ：子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境 提出された指導計画について気づいた点を適宜フィードバックしながら、子どもの発達を促す楽しい環境・遊びについて検討し、実践してみる。
第11回	テーマ：子ども同士の関わりとその援助 提出された指導計画について気づいた点を適宜フィードバックしながら、事例検討を行う。
第12回	テーマ：保護者との関係性 グループワークで事例検討を行い、それに基づいてロールプレイをする。
第13回	テーマ：チームで保育するということ グループワークで事例検討を行い、それに基づいてロールプレイをする。
第14回	テーマ：多様化する乳児保育の現状と課題 グループワークで事例検討を行い、それに基づいてロールプレイをする。
第15回	テーマ：総まとめ 実践力とは何かを検討し、今後の乳児保育の実践についてレポートにまとめる。
テキスト	１年生で使用した教科書 乳児保育演習ブック　　監修：松本峰雄　　ミネルヴァ書房
参考図書・教材／データベース・	・保育所保育指針解説　厚生労働省編　フレーベル館 ・実習の日誌と指導案　サポートブック　ナツメ社 ・新　幼児と保育　小学館 ・保育の友　全国社会福祉協議会出版部

雑誌等の紹介	
課題に対するフィードバックの方法	・意見発表やロールプレイ等については、その都度フィードバックを行う。 ・指導計画については、コメントを付けて返却する。
学生へのメッセージ・コメント	１年次に学んだ乳児保育の意義や目的、子どもの発達特性や愛着形成、自己肯定感等について復習しておきましょう。 子どもたちの望ましい育ちを後押しするのはあなたです。 現場から学ぶ姿勢を大切にしながら、色々な事にチャレンジしてみましょう。 保育園訪問や、子育て支援の関わり等、できることはやってみましょう。 主体的な学びを応援します。